

宇宙・地球物理学が専門の東北大学名誉教授
小原 隆博先生と学生・職員合わせて 24 名で

10/29 角田宇宙センター見学へ行ってきました

参加された学生さんからたくさんの感想をいただきましたので、当日の写真とともにご覧ください。



時代の最先端に行く施設の見学は最高でした！



ロケットエンジンの開発状況を確認でき、常にチャレンジしている姿に感動しました。



宮城学習センター主催イベントの角田宇宙センター見学に参加させて頂き有難うございました。

遠足バス小旅行の様な気分で楽しかったです。小原先生のロケット・宇宙の講義御説明、学習センタースタッフ方のご案内、そして宇宙センタースタッフ方の臨場感溢れる説明解説等、丁度数日前に H3 ロケットの打上げ成功の後で、大変タイムリーな企画に参加できてラッキーでした。初めて得られた知見が多く、ウチに帰ってから早速 ISS の“きぼう”の動画を視聴して感激しました。本当にありがとうございました。

本日は、大変お世話になりました。今回、学生厚生イベントに初めて参加しました。放送大学は、そのシステム上、あまり他の学生と交流する機会が多くないので、このようなイベントは、大変ありがたかったです。また、学生間で交流出来るイベントがあれば、参加したいと思います。



今回初めて JAXA 角田宇宙センターを見学しました。

先日のニュースでロケットが打ち上げられたな～という印象しかありませんでしたが、ロケットの仕組みや宇宙センターでどのような実験が行われているかなど、わかりやすく説明していただき、とても興味深い時間を過ごすことができました。

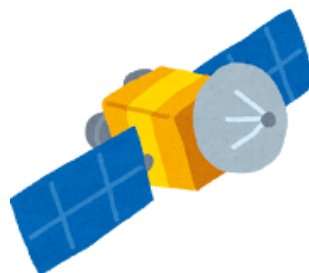
回収されたロケットの一部も展示しており、おもしろかったです。ありがとうございました!!



本日は、角田宇宙センター見学に参加させていただきありがとうございました。小原先生からの学びから始まった見学は、宇宙センターでの体感を通じてより宇宙への興味、ロケット開発の今と未来を感じる、そのような貴重な時間でした。

そして、宇宙開発がフライパンの加工技術など普段の生活にいかされているというお話も伺い、宇宙がより身近に感じられた、そのような体験もさせていただきました。

職員の方、学びが多い見学（遠足気分も楽しめました）をありがとうございました。



本日は楽しく学べる時間を戴きありがとうございました。ずっと行きたかった場所なので機会を戴き感謝しています。

宇宙への技術的方面には詳しくありませんが、ロケットの成り立ち、歴史などを学び漠然と見ていた打ち上げ映像をより興味を持ってみることが出来そうです。

角田の土地柄も知り、改めて仙台が軍都だった事が実感できました。

説明頂いた失敗した時の経緯などはプロジェクトXを見ているようで面白かったです。

また最初の自己紹介では普段知らない学生の方々の受講動機や歴などを知りました。皆さんの意欲にあてられ、そろそろ勉強はいかな、と考えていた自分を反省したくらい。ともあれ有意義な時間でした。



国際宇宙ステーションに物資を届ける新型無人補給船が、H3 ロケットによって打ち上げられたのが 10 月 26 日。その 3 日後に、このロケットの研究と開発を行っている角田宇宙センターを見学することができてよかったです。展示室の中央には、失敗に終わった後に海底から引き揚げられたエンジンが置かれていて、多くの試行錯誤の末に成功を勝ち取ったことを実感しました。

H3 の特長は、自動車製造技術を活用した、低コスト、柔軟な納期設定、高い品質だそうです。増え続けるロケット打ち上げ回数に貢献できるように、日本の製造業の強さを見せつけてほしいと思いました。



センターの名前はマスコミの報道により知ってはいましたが、今回の見学により、日本の宇宙ロケット技術の一端を知る貴重な研修をすることができました。他にも宇宙食やロケットの実物などにも興味を引くことができました。



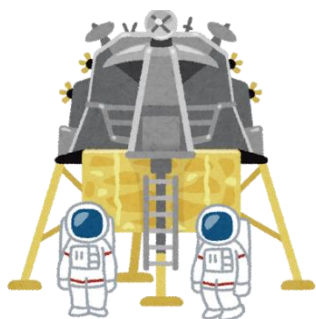
とてもワクワクする夢のある見学でした！

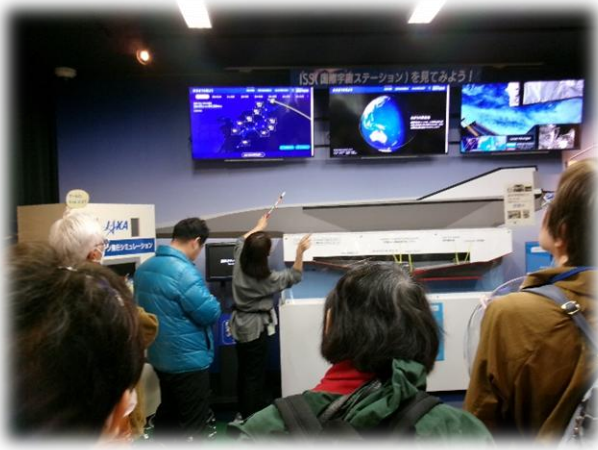


今回の見学会は、プランよし、内容よし、時間よし、説明よし、ガイドよしと最高でした。私の今迄の職種が、チーゼルエンジンを搭載した建設機械の修理やメンテナンスでしたので、今回の見学は大変興味のあるものでした。同じエンジンでも、コンパクトで大馬力を発するいろんな仕掛けがあるものだと感心しました。また解かり易い説明が印象に残りました。お疲れ様でした。

県内にこのような施設があることを知りませんでした。遠いかなただった宇宙が身近に感じられた貴重な時間でした。現在学んでいる科目にもこの体験が生きてくると思います。

30年以上前に見学して以来だったので、大変興味深く参加いたしました。ロケット開発の進捗状況や宇宙食の開発の進展を知り、宇宙への夢がもう間近に迫っていることを知りました。また、センターの方の説明から、発射時点で宇宙へ向けて飛び出すエネルギーに必要な燃料を積み込む必要があり、宇宙に運んでいける物資の重量はロケット全体の総重量の1%未満であるということを知り、それだけの膨大な燃料が必要なることを知ることになり、とても興味深いお話を聞くことができました。





数十年ぶりの遠足気分で昨夜はあまり眠れませんでした。
自身にロケットの理解は無理だろうと思いつつ興味だけで申し込みましたが、
とても解りやすくさらに興味深くなりました。
ぜひ肉眼で国際宇宙ステーションも見たいと思います。
大変楽しかったです。ありがとうございました。

私の知っている JAXA は、テレビで放映される宇宙へのロケット発射の
シーンです。今回、角田宇宙センターを見学して知ったのは、地球から
宇宙へ飛び立つためには常に重力との戦いが必要であると。重力を押
し分けていくのにはエンジン部分を、軽く丈夫なものをつくらなければならない
ということもまた知りました。それを担っているのが角田であることを。



未来に希望を与える宇宙開発センターの展示室に、打ち上げに
失敗し、原因究明のために海底から引き揚げられたロケットエンジ
ンが展示されており、失敗から学ぶことの大切さを感じた。

夢をいかに現実のものにしていくかその過程をじっくり見せていただいた気がした。宇宙に直に触る・見るための機器、それを
機能させるための技術・工学。理論だけではない難しさを乗り越える喜びをいくら共感できました。大げさでしょうか。
今回の企画、本当にありがとうございました。

参加いただきありがとうございました！